2024 年（令和 6 年）1月 1 日
くげぬま探求クラブ

会報　くぐひ

第116 号（正月号）

◇　くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる　◇

新年を迎えて

世話人代表　坂口　純則

辰年は陽の気が動き、活力旺盛になり大きく成長する年

皆さん、明けましておめでとうございます。

今年の干支は、辰です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だといわれています。昨年は30周年という節目に、記念に残る多くのイベントを全員で果敢に取組み、確かな足跡を残すことができました。今年は、その先を見据え、干支の辰のごとく、活力旺盛になって大きく成長したいものです。

クラブ憲章5項目は、探求クラブの魅力の源泉

昨年、活動紹介プレゼンの機会があり、その中でクラブ憲章の素晴らしさと、ここにくげぬま探求クラブの魅力が詰まっていることを改めて気づかされました。「つながろう くげぬま！」（鵠沼地区関係団体交流会）では、探求クラブの活動に高い評価を頂きました。くげぬま探求クラブが30年も続いている秘訣は、創生期に素晴らしき知恵者達が集まり、退職後に地域との関係性が希薄な男性諸氏に「会社人間から社会人間を目指そう」と発信したメッセージが、社会ニーズに合っていたからだと思います。

入会者を増やすことに、全力を尽くそう

現状は、新人会員の入会が少なく、高齢化が進み、このままでは地域活動に支障を来すことも予測されます。明るい材料は、各部会が70代前半の人たちが核となって活躍していることです。これに続く世代を確保していけば局面は変わっていくと思います。代表の任期は、残り1年3ヶ月です。課題は「入会者を増やす」ことに尽きると思います。この課題に全員で取組み、行動していけば途は開けると思います。昨年11～12月に2名の入会がありました、その他、部会にゲスト参加している有望な人もいるようです。部会のゲスト参加から会員へ導くという手法も有効と思います。

最後に

昨年の30周年記念行事や全員参加の公民館まつりの諸活動を通じ、クラブメンバーの友情と結束がより強まったと感じています。今年1年を次の35周年に向かう確かな1歩になるよう、皆さんと共に健康に留意しつつ、充実した年にしていきたいと思っています。今年もよろしくお願いします。

公民館まつりを終えて

プレイベント『古本市』

池田 修

＜回収＞9月29日(金)～10月5日(木)9:30～17:00
＜販売＞10月7日(土)10:00～14:00、8日(日)10:00～正午、於:ホール。

プレイベントになって2年目の今年は一日半の開店。集まった11488冊(前年比約3000冊減)はクラブ員の手で目につきやすいよう工夫して、いくつもの島にきれいに整頓。販売初日の7日は、開店時間前にホールの扉から公民館玄関を抜け駐車場近くまでの長蛇の列となって、みなさんの入れ込みぶりが際立った。売価は100円と50円(子ども本も同じ)の2本立てに改定。しばらくはみなさん好みの本に出合うために集中、そのため広いホールは静かなもの。一息つくや、3カ所のレジは大賑わい。クラブ員のチェックした冊数を公民館スタッフが会計処理、の流れ作業。翌8日は価格ダウンを実施したため、お客さんは昼まで粘ってニコニコ顔で帰っていった。売り上げはまつり実施費用として、今年も貢献した。

ヤングブラザーズ　公民館まつり公演

池田 修

♪10月15日(土)14:40-15:55 参加者15名(内ゲスト5、先生1)

コロナ明けの去年にくらべ、今年はすっきり歌えることになった。体調不良の高木辰夫先生に代わり、ゲストの黒澤良二が指揮を担当。出演団体が多く5分カットの15分になり、楽曲数も全5曲。13人が初の横一線、ステージいっぱいに広がっての歌唱。オープニングは団歌の「自由の歌」次いで「エーデルワイス」を英語バージョン、3曲目は客席と一緒に水芭蕉の「夏の思い出」。メインは、中島みゆき詞・曲の「時代」。エンディングは、お決まりの「今日のひととき」。客席はまずまずの八分の入りで、何人かの懐かしい顔も見た。男声合唱らしい力強い曲が無かったためか「さらっとした感じ。でも良かった」とは、公演後のヤンブラファンからの感想でした。

災害時トイレ・防災気象クイズ

柳田 敏雄

今年度の災害展示は、①在宅避難のトイレ使用方法、②1週間の食料品、飲料水のローリングストック方法、③地震による建物の揺れを実験で学習、④被災時の正しい行動クイズ　の4本立て。

定番の①トイレ展示は、昨年使用したトイレ、排泄物模型を活用、②ローリングストックも同様に展示し、③地震の建物の揺れは、模型による固有振動と耐震・制震実験を学習し、東京スカイツリーが千数百年前の五重塔と同じ心柱が浮いていて振子になって揺れを抑制する原理を習得、④災害クイズは消防庁動画チャンネルを活用した。①、②は大人が、③、④は小学生が興味を持って説明に聞き入った。一人でも防災に関して興味を持ってもらえれば幸いです。

囲碁・将棋

河村 英二

今年も例年通り野外テントを張り縁台囲碁・将棋のコーナーを開催しました。本来は月例の 10 月の例会でしたが、部屋が他の祭事で使用に当てがわれ、その月は休止でしたが、テントを張り野外での開催を打診され、16 年前から今の形式で月例会が復活しました。縁台形式で子供は月例のリピーターの他、他の多くの子供そして親子連れ又、大人の方々が顔を見せ楽しむ姿が見られるようになり相手をするメンバーも結構忙しい時間を過ごします。今年は近くの小学校の運動会と重なったことと、2 日目は午前雨模様のことも有り出足が心配でしたが 93 名の方が対局されました。又、この 16 年で初めてご婦人が顔を出され囲碁を打たれる姿が見られたこともあり、携わった私達メンバーも楽しませてもらいました。

手作りおもちゃ

塩川 昌男

今年の手作りおもちゃのイベントでは　輪ゴム鉄砲、CDコマ、竹笛の3種類が実施された。販売価格はそれぞれ30円、30円、20円と低めに設定された。竹笛は久しぶりに参加となった。各おもちゃとも200セットほど準備した。鵠洋小学校の運動会開催や悪天候などが重なったためか予想を下回り、それぞれ144，128、118セットが子どもたちの手に渡った。親子連れが大半で、子どもの年齢は幼児から小学校低学年が多かった。手作りした後に、輪ゴム鉄砲は当たるとランプが点灯する「的あて」、CDコマは色付けをおこなってから回すときれいな「コマ回し」、竹笛は「吹いて鳴らす」という遊び方があり、思い思いの動作を親子で楽しんでいた。

プレイベント『古本市』

ヤングブラザーズ

囲碁・将棋

災害時トイレ

手作りおもちゃ

30周年記念行事報告

健康講座

坂口 純則

9月7日（木）から3週連続で健康講座が開催された。①「楽しくフレイル予防」、②「シニア世代のいきがいづくり」、③「認知症になっても安心して暮らせるまち　ふじさわ」の3講座で構成され、それぞれ50，37、82人が参加。探求クラブ会員は延べ61人が参加した。

講座①では**第一部**は**「脳がいきいきする音楽とお話」**　湘南地区“伝説のDJ”在津紀元さんに出演して頂き、全18曲を聴かせてもらった。**第二部**は藤沢市高齢者支援課が準備してくれた体力測定。測定の種類は、「血管年齢測定」「体組成測定」「歩行測定」「つぼ押し体験」「お口の健康度測定」「栄養相談」の6ブース。シニア世代が健康に関心のあることを改めて実感。

講座②は**「シニア世代のいきがいづくり」**司会：田中力さんにより**第一部**は地域活動関連の団体紹介として　以下の5団体が発表。（1）くげぬま探求クラブ（坂口代表）（2）ボランティア「ささえ」（三宅代表）（3）鵠沼地区小地域ケア会議・協議会（長瀬氏）（4）藤沢市薬剤師会（齋藤氏）（5）鵠沼東、鵠沼南地域包括支援センター（石井氏、眞田氏）**第二部**は小野氏（藤沢市社会福祉協議会会長）がコーディネーターとなり、地域活動の活性化というテーマでパネルディスカッション。くげぬま探求クラブの30年に亘る地域活動について、好意的意見が多かった。

講座③は　**「認知症になっても安心して暮らせるまち　ふじさわ」**と題し**第一部**は講演「認知症の僕が知ってほしいこと、やってほしいこと」（かながわオレンジ大使SUZUKI YOU）**第二部**はパネルディスカッションが行われた。パネリストは以下の４人。（SUZUKI YOU氏、鈴木しげ氏、井草光一氏、坂口純則）

公民館クリーンアップ活動

池田 修

今回は公民館の要望に応えるカタチで、館内の故障個所の修理・改善を請け負った。公民館の“困ったときの探求ク頼み”と受け止めてのクリーンアップ活動。例会で応募者を募り、手を挙げてくれた中から萩原興成、塙 泉、浦山由巳さんらに作業を依嘱。

① 壊れて回転止めストッパーが機能不全で、養生テープで仮押さえしたままのホワイドボード（各室に6台）のパーツの独自製作
② 和室の障子・襖の張り替え
③ 学習室2扉のガラリ（ドア下部の換気口）の取り換え
④ 外装が剥離し下地が露出したままの学習室Ⅰのピアノ破損修復
⑤ 本新館2F連絡通路ドアストッパー修復

不便な状況が続くより改善は早い方が‥となり、作業時期を早めた。その結果はⅠ　ホワイトボード、その他＝6月完了（担当：塙）Ⅱ　和室障子とフスマ　補修＝8月完了（担当：塙、浦山）Ⅲ　扉ガラリ＝9月完了（担当：萩原）Ⅳ　ピアノ補修＝9月完了（担当：浦山、塙）Ⅴ本新館2F連絡通路ドアストッパー修復＝12月完了（担当：浦山）　クラブ員の持つスキルは多彩で凄い。

公民館へピアノ椅子寄贈

小山 和彦

創立30周年記念行事の一つとして、いつもお世話になっている公民館へ記念の品を贈ることを提案し、採用された。当初は車椅子をと公民館へ相談したところ、車椅子は相当数あるのでむしろ学習室1と文化活動室のピアノ椅子が壊れかかっているので可能なら、ということだったのでそちらへ切り替えることとなった。

10月に入り、ヤングブラザーズが公民館まつり出演のため練習に熱が入り始めたところだったが、ついにピアノ椅子が壊れてしまった。一刻も早い納品が必要となり、10月25日に納品した。3日後にはヤングブラザーズの練習が入っており、最初の利用者となったようだ。

高山みな子さん講演会「勝海舟ってどんな人」

近代史を語る会　田中 章

11 月 7 日、勝海舟の玄孫でフリーライターの高山みな子さんを講師に迎え、地域住民を対象としたクラブ創立30 周年記念行事としては最後になる講演会を開催した。幕末から明治維新へと激動する日本で重要な役割を果たし江戸城無血開城を実現させた勝海舟のご子孫による講演とあって、鵠沼地区内外から老若男女90名

もの参加者があった。

髙山さんの 2 時間に及ぶお話は 100 ページを超えるパワーポイントを使用して行われ、先ずは海舟と鵠沼との関わりから始まった。1887(明治 20)年、伯爵の爵位を受けた海舟が東京の大給邸に挨拶に訪れた時、同邸内にあった賀来神社に参拝し、「海舟勝安房」の署名入り神社名を拝書した。この筆蹟は鵠沼に伝わり、現在江ノ電鵠沼駅前の賀来神社の社号標に使用されている。

そして、海舟が激動の時代に歩んだ道を、貴重な家族写真や咸臨丸でのアメリカへの渡航の様子、彼を支えた人たちとのエピソード等々も紹介しながら、海舟の人物像を明快に浮き彫りにされた。海舟はペリー来航に際し、海防に関し嘉永 6 年(1853 年)7 月に再度の上書を行なっている。それは現代でいう「人材育成とグローバル化」。即ち1)有能な人材の登用、2)海の警備の重要性、3)江戸の防備　政治の中心・首都機能の維持、4)兵制改革、人材育成(教練学校の建造)、5)火薬、鉄砲玉、武具の製造、次男三男や老人などの活用。海舟は若者への教育や人材育成に積極的だった。明治維新では一気に日本社会が変化したが、人の育成を進めたことが文明開化に繋がっていると思うとのこと。

髙山さんは全国で講演をされているが、その訪れた先々で得られた海舟に関する情報・写真も講演の中に盛り込まれ、大変興味深いものであった。海舟はその生涯を終える前にこう語ったという。「人の命を大切にしたから長生きできたのかと思う。生花も造花もいらない、そのお金は赤坂の窮民へ」真に立派な人物であったという他ない。

講演後のアンケートでは、「充実した内容でした。小説を読んでいるようで興奮しました」、「歴史の裏側の実話が聞けて良かった」等々の声が寄せられた。また、全参加者に配布された髙山さんご自身作成の勝海舟年表は海舟の人生とその時々の日本及び世界の動きが対比して見られるようになっており、今後近代史を学んでいく上でも参考になるだろう。

健康講座

公民館へピアノ椅子寄贈

公民館クリーンアップ活動

高山みな子さん講演会「勝海舟ってどんな人」

２０２４年　年男登場

年頭に当たり、今年の年男の抱負を投稿していただきました。辰年生まれは3人です。

2024年（令和6年）は年男

野村 時男

1940年辰年生れの私は12年間を7回過ごしました。1940生れ（0歳）＋（12年×7回＝84歳）＝2024年。

探求クラブの会員になったのも【年男】の2000年でした。

会員になってからの年男は、2000年、2012年、2024年の3回目となりますが年男の年役の認識がなく、年男役は一回もしませんでした。

「くぐひ記事」を書くにあたり【年男】について学習しました。

【1】正月の飾り付けや神社の湧き水の水くみ。新年の諸儀式を行う男役。

【2】節分の豆まきを行う。

今年こそは、稲荷神社の湧き水を抹茶で一杯頂きます。

年男の私を活用の機会が有りましたら声を掛けて下さい。

8回目の辰年、感謝あるのみ

永利 文男

辰年生まれである。12年毎に辰年はめぐってきたが、年男とかを意識したことはない。来年は8度目の辰年(84歳)である。今年は後2ヶ月程残っているが、平穏無事に迎えられそうだ。ただただ感謝あるのみ。

それにしても84歳とは少し長生きし過ぎたかなと思う。現在は一人で生活しているので、体がまがりなりにも動くことが必要である。そのためにはよく歩くことが重要と考えている。雨が降らない限り散歩するよう心掛けている。夕方近くに六千歩から七千歩くらい歩くことが多い。このくらい歩くとおなかもすくし、寝つきも良くなるように思う。家では座って生活していることも、この面ではプラスに働いているだろうと思う。

自分には不整脈がある。何とかコントロールできないかと奮闘しているところである。

（令和5年10月記）

２０２４年　米寿

米寿を迎えて

五島 寛之

私が米寿を迎えることができたことに、今更ながら自分に対し褒めてやりたい気持ちでいっぱいである。歳を取ることは、長寿を迎える証であり、家族や友人、そして25年間過ごした探求クラブの皆さんと共に、多くの経験ができたことに感謝したい。

振り返ってみれば、昨年、探求クラブ創立30周年を迎え、記念行事に鵠っ子囲碁・将棋ルームは佐藤康光九段の3度の招聘をした。このような行事に毎回携わる事ができたことは貴重な経験の一つである。

またヤングブラザーズは、2002年に当時7人で創設した。私もその1人であったが、残念ながら現在は2人となり、部員も15名と激減してしまった。だが、昨年からは指揮者、部会長共に交代となり、新生ヤングブラザーズとして誕生したことを祝いつつ、最高齢になった自身の老骨にムチを打ちながら続けていきたいと思っている。

更に、皆さんとの絆も大切にし、残された日々を大いに謳歌していきたいと願っている。

病気のデパート

成瀬 義雄

六十代の在職中に脳梗塞で都内の病院で14日間の入院、退院後治療の通院中に心筋梗塞が判明、同病院に再入院、冠動脈バイパス7時間の手術。これも2週間で退院。

脳、心臓の病気で後は癌かなと思っていたところ86歳の誕生日に血尿がでて膀胱がんが見つかり自宅に近い病院に入院し、まず内視鏡手術で5日間。抗がん剤点滴で10日間と7日間の入院後、放射線治療を希望し30回の照射で通院。とりあえず癌はなくなり、胸の影の心配で他病院でPETもやり転移なし。半年後の検査次第だが癌のことだからどうなるかわからない。

今年は年一回の心臓検査につづき膀胱がんの泌

尿器科の検査、放射線科の検査と春先は忙しく緑内障、白内障の治療もあるがいまのところ具合のわるいとろは足のむくみで歩くのに苦労するのが、病気のデパートで今年は米寿を迎える今日この頃です。

しかし暗い話だけではありませんこの間息子の新しい嫁の実家中国江西省宜春市奉新県上富鎮に一ヶ月、息子の転勤先ドバイの豪華ホテルに一ヶ月いて万博に10回以上行き、また息子の帰国の際には息子の運転で日本中ドライブ。近畿、東北、九州、北海道と旅行を楽しんだことを付け加えておきます。夫婦ともどもです。

私こういうものです　新入会員の自己紹介です。会員数は46名になりました

小野 征一郎さん

出身は岡山県倉敷市、高校卒業後大学入学とともに東京へ来ました。結婚し妻の実家である藤沢市辻堂に50年以上住んでいます。

リタイアして20年以上経過しますが、大学に勤め水産経済学を講義していました。現在でも水産政策、水産業には強い関心をもっています。

偶然の機会にくげぬま探求クラブを知り、メンバーに加えて頂き心から感謝しています。私はもともとウォーキングに意欲があり、健康部会において積極的に活動したいと考えています。高齢のため徒歩6～7㎞が限度ですが、その範囲で元気を尽くしたい。

様々な部会が用意され目移りしそうですが、機会を選んで適宜参加しようと考えています。鵠沼からやや遠いのが残念ですけれども、どうかよろしくお願いいたします。

村田 正文さん

昭和29年9月24日、新潟県新潟市出生、その後小学校3年まで東京で育ち、中学校2年まで再び新潟で、中2の終わり頃湘洋中に転校して来ました。
その後県立高校、下宿して大学理系、大学院を経て製薬会社、分析機器メーカー、化学メーカーにてバイオテクノロジー分野の研究、開発を担当、分析機器メーカーに勤めていた31歳の時、現在の家内に出会い、結婚しました。その後父が退職、母と共に新潟にある、先祖伝来の家に隠居し、鵠沼の家は空家になりました。1995年つくばの研究所から板橋研究所に転勤した際に、この地に建っていた住宅を解体し、新たに現在の建物の建設を開始し、1996年6月15日に完成し、この地の住人になりました。

2019年9月24日に65歳になり、2020年3月20日に化学メーカーを退職したことを契機として、「鵠南みどり会」の防災部長をお引き受けしました。防災に関して専門的な知識がある訳でもない私が自治会員の命を守るために、必要な知識を得るために、勉強をさせて頂く場として「くげぬま探求クラブ」の「災害研究部会」に参加させて頂き、素晴らしいメンバーとの出会いもあり、感激です。正式のメンバーにお迎え頂きました。宜しくお願い致します。

くぐひ制作部紹介

会報「くぐひ」の候補記事案出から印刷・発行まで

塩川 昌男

当クラブには22の部会があり、それ以外にいくつかの委員会がある。会報「くぐひ」には各部会の紹介欄があり定期的に登場するが、委員会の様子はあまり紹介されていない。ここでは本会報の発行を担当する「くぐひ制作部」を紹介したい。

2015年にスタートしたメディア委員会はHP制作部とくぐひ制作部で構成される。くぐひ創刊号以来暫くはクラブ全体で編集業務をおこなっていたが、その後広報・編集委員会が編集を担当し、のちのメディア委員会・くぐひ制作部が引き継いだ。

会報制作は候補記事の案出から始まる。次号でどのような紙面構成にするか、その基礎となる記事の候補を集める。それを基にページ構成案を制作し、**第一回編集会議**を開き書面で審議する。ページごとに記事のテーマ、執筆者、字数、原稿執筆期限、執筆者への伝達担当編集委員などを決める。イベントによっては開催後なるべく早く掲載するために、執筆期間が短くなる場合もある。第一回編集会議終了後執筆者への依頼を行う。

集まった原稿は長谷川委員がページごとに編集し、

版下を制作。未入手の原稿は空白のまま纏める。この版下を使用しPCとプロジェクターで**第二回編集会議**をおこなう。この時点で概ね8割方の原稿が到着しているので、ページ構成の全体像はかなり見えてきている。入手原稿についてタイトルのフォント、ポイント、段組みなどのスタイル、本文の推敲（助詞や文体、表現のダブりや抜け、誤字・脱字）その他、このまま公表して問題がない原稿かなど、気が付くことは何でも俎上にのせて話し合うが、基本は執筆者の意向を尊重するという姿勢である。主な推敲結果は適宜執筆者に確認し了解をとる。ページ構成が概ね見えてきた段階で、クラブ短信など、穴埋め要素のある記事の準備を進める。

第三回編集会議ではほぼ全部の記事が出そろう。最終的な写真の大きさ・位置やキャプションの有無、体裁のチェックを行う。稀に調整事項が残った場合は会議後のメール交信でまとめる。最終版下が完成すると、編集委員の担当を割り振り、ページごとの最終チェックを行い、その結果は編集委員全員で共有する。この作業が終わると、印刷用の版下を長谷川委員がまとめ送付する。

印刷用の版下は①全体の版下、②白黒の文字用、③カラー印刷用の版下で構成される。私が白黒印刷用原紙をコピーで作成する。渡辺印刷（株）から購入した厚手のA3印刷用紙は私が自宅で保管。公民館に保管していたころには管理状態が悪く、紙の変形などがあるため、自宅保管に切り替えた。クラブ所有のA3カラープリンターは公民館から小山委員が引き取り自宅保管。**印刷作業**は5～6人で公民館にて行う。白黒印刷は印刷室で、カラー印刷は小山委員がPC、A3プリンターを持ち込んで会議室で実施。2006年7月に47号で初めて登場したカラー写真は114号では計5ページ、115号では計4ページに掲載となった。会議後は賑やかな反省会を実施している。業務分担の担当長期化が進み、世代交代が望まれる。

クラブ短信

1．ヤングハーツ部会長交代
昨年7月に交代したばかりの井上部会長が今年1月に休会に入るため再度交代となった。新部会長は世話人代表の坂口さんが引き受けることになった。

2．ゴルフコンペ
11月6日（火）に鎌倉パブリックゴルフ場でくげぬま探求クラブの第52回ゴルフコンペが開催されました。参加者はクラブ員9名とゲスト1名でした。心配していた雨が朝方に残っていて、第1組スタート時はあわてて雨具を着たり傘をさすなどしましたが、間もなく雨は上がり、その後は。快適にゴルフを楽しめました。1位は森芳之さんでしたが、初参加のために同スコアの岸さんが優勝、森さんが準優勝、坂口さんが3位となりました。

3．サンタの出前

＊鵠洋児童館クリスマス会（サンタの出前）12月4日（月）。参加者：ヤングハーツ9（4）名。子供と遊ぶ会3名。施設参加者：保護者含め50名。今年は門田さんのサンタが主役であった。英語達者で愉快なサンタさんを見て、会場は盛り上がった。最後は、子ども達がトーチを振る中、全員で「きよしこの夜」を歌い、閉幕となった。
＊12月7日に公民館にて「カンガルークリスマス会」開催。父母・子供が30人ほど参加。当クラブからは4名が参加し、坂口さんが奏でるキーボードのBGMのもと、小川さんがサンタ役を務めた。お母さんたちはサンタと子どもをスマホで撮影していた。
＊12月9日にひょっこり鵠南島のクリスマス会が行われた。父母を含め64人が来場し、当クラブからは5名が参加した。ぽんたの会の絵本読み聞かせと参加者によるクリスマスツリー作りに続き、当クラブの田中（章）さんと佐々木さんが扮するサンタが登場してプレゼントを配り、大賑わいであった。

4．海岸公園祭り：凧あげ
神奈川県立湘南海岸公園サーフビレッジ周辺で10月29日（日）に第14回湘南海岸公園まつりが実施されました。このイベントは我が探求クラブが所属する「湘南海岸公園友の会」の主催であり、我がクラブは子供を対象にした「凧作り・凧あげ」の指導に参加しました。当日は凧あげに最良の風が吹き、先着50名の親子連れや子供がまつりの始まる10時から続々ときて、我がクラブ員11名の指導でポリエチレンゴミ袋の凧に自由に絵を描いて世界に一つだけのオリジナル凧を作り、サーフビレッジ周辺の広場で凧あげを楽しみました。

～例会・各部会活動報告～

9月　September

○354回例会 2日(土)出席28名。
古本市、まつり、地域活動見本市、湘南海岸公園祭り、つながろう鵠沼！
＜30周年記念行事＞【健康講座Ⅰ】7日(木) 公民館。来場49名(探求ク22、一般27)**【同Ⅱ】**14日(木) 公民館。来場37名(探求ク24、一般13)**【同Ⅲ】**21日(木) 市民会館小ホール。来場82名(探求ク15)。
＜30周年記念行事＞【公民館クリーンアップ】①w.ボード補修②障子張替③学習室扉用ガラリ④ピアノ外装修復。6～9月に完了。
1.メディア委員会、2.HP制作部休会
3.アーカイブ委員会15日(金) 出席5名 ①閲覧手順書とリンクの告知方法、クラブ員資料の収集方法。
4.くぐひ制作部13日(水) 参加8名。第115号(秋号)の第三回編集会議。
5.30 周年記念事委員会 27 日(水)出席 7 名。祝賀食事会は 12/14(木)ミナパークで。
【地域活動部門】( )内はゲストで内数
6.【鵠沼松が岡公園愛護会】①3 日(日)参加 12 名。②17 日(日)参加5名。
7.【藤が谷公園愛護会】10 日(日)参加8名(2)。
8.【ヤングハーツ】①6日(水)月初練習、参加21名(12)②18日(月) 亀吉訪問、参加6名(3)③23日(土)グリーンコン、参加18名(9)。
9.【おもちゃの病院】①10日(日)参加12名(2)、来院19名②24(日)40参加14名(2)、来院9名。
10.【こどもと遊ぶ会】・25 日(月)鵠洋児童館。参加 7 名。子ども 17、保護者3、児童館職員1。輪ゴム鉄砲。・30 日(土)鵠南子どもの家「手作り教室」参加 5 名。親子 73、スタッフ 12。CD コマ他。
11.【鵠っ子囲碁・将棋ルーム】17日(日)参加8名(2) 子供13、他6。日本将棋連盟横浜支部事務局長が見学。
12.【災害研究部会】8日(金) 出席8名(2)①伊勢湾台風。②まつり災害展示内容検討他。
13.【極楽部会】20日(水)参加14名。30周年「健康講座」。講座Ⅰ体力測定好評。同Ⅱ一般客少。
14.【健康を探求する会】28日(木)第18回、参加6名(2)。ひざ痛の悩み:チェックと対処法他。
【親睦研鑽部門】( )内はゲストで内数
1.【サロン会】16日(土)参加14名(2)。
2.【健康部会】22日(金)天候不順で中止。
3.【探訪部会】休会。
4.【カラオケ部会】18 日(月) 参加 9 名(3)。
5.【農園部会】①3(日)定例、参加 4 名②24(日)参加 6 名。夏野菜から秋・冬野菜への切り替え。
6.【談話室】20日(水)参加12名。「OB会」案討議。
7.【デジタル情報部会】25日(月) 参加17名 ①「ドメイン名の知識」他②スパコン富岳他。
8.【ヤングブラザーズ】①9日(土)出席14名(5先生1)②23日(土)出席15名(5先生1)。
9.【近代史を語る会】14日(木)参加10名(1)。『山川日本近代史』。第1章「近代国家の成立」「開国」。
10.【企業研究部会】休会
11.【なつかしの名盤愛好会】11 日(月)参加 6 名。小柳さんのバンド「トライアード」の録音を 4 曲。
12.【似 歌 会】12日(火)第132回。参加7名(1)。兼題「残暑」。・待て待たぬ 縁台涼し へぼ将棋　恒有
13.【おひる探Q会】7日(木)参加6名(2)。秋ナスに、冷や麦と白玉ぜんざい。

10月　October

○臨時総会(世話人交代) ○355回例会7日(土)出席34名。
【鵠沼地区公民館まつり】【古本市】古本回収9/29～10/5、11488冊、販売10/7～8日、4226冊(販売率37%)
【まつり】14(土)15(日)・おもちゃ・囲碁・将棋ルーム・災害研究会・ヤンブラ。
1.メディア委 2.HP制作部 3.アーカイブ委休会
4.くぐひ制作部18日(水)参加9名。くぐひ116号第一回編集会議。内容多く10ページ建てへ。
5. 30 周年記念事委員会 25 日(水)参加 5 名。12/14(木)ミナパークで開催予定の祝賀会の検討。
【地域活動部門】( )内はゲストで内数
6.【鵠沼松が岡公園愛護会】1 日(日)参加 10 名。
7.【藤が谷公園愛護会】8日(土)参加8名(2)清掃他。。
8.【ヤングハーツ】①4日(水)月初練習。参加20名(11)②23日(月)亀吉訪問③24日(火)鵠生園デイ。参加13名(6名)4年振り訪問。
9.【おもちゃの病院】①8日(日)参加9名(2)。来院12名(新患18、引取3)②22日(日)参加13名(2)。来院26名(新患19、引取8)
10.【こどもと遊ぶ会】休会
11.【鵠っ子囲碁・将棋ルーム】公民館まつりに参加。
12.【災害研究部会】(柳田)6日(金)出席7名(2)①令和元年台風19号②まつり災害展示内容③境川防潮扉④公民館建替え情報。
13.【極楽部会】18日(水)参加13名。T-Aさんの健康法はスクワット、ウォーキング、音楽を聴くこと。
14.【健康を探求する会】26日(木)19回参加6名(2)。寿命を左右する喉の衰え。健康情報:長寿者に学ぶ健康寿命を延ばすコツ。
【親睦研鑽部門】
1.【サロン会】21日(土)参加12名(2)。酒はまつり打ち上げで余ったものを活用。
2.【健康部会】27日(金)参加7名(1) 大磯で史跡、邸園散策。
3.【探訪部会】休会
4.【カラオケ部会】16 日(月)参加 13 名(5)。最多数参加。
5.【農園部会】①1日(日)参加 4 名。②16 日(月) 参加 5 名。隣の区画が当選。
6.【談話室】18日(水)参加11名。高齢化した会員の対応「OB会」は「特別会員」制度？。
7.【デジタル情報部会】23日(月) 出席11名(1)。「Webブラウザの上手な使い方」とChatGPT他。
8.【ヤングブラザーズ】①6日(金)14名(5先生1)②11日(水) リハ。14名(4先生1)③15日(日) まつり出演。参加15名(5先生1)④28日(土)16名(5先生2)。部会長交代 池田修→大木。
9.【近代史を語る会】19 日(木) 参加 11 名(3)『もういちど読む山川日本近代史』をテキストの三回目。
10.【企業研究部会】休会
11.【なつかしの名盤愛好会】 9 日(月)参加 7 名。田中章さん出演の R 湘南「音楽鍋」録音聴取。
12.【似 歌 会】(細田)3日(火) 出席6名(1)。兼題「秋の空」 起きぬけに 長袖さがす 秋彼岸　風鈴坊
13.【おひる探Q会】 5日(木) 参加7名(2)。栗と銀杏の「ほっこり栗ご飯」「茶碗蒸し」「秋茄子の浅漬」
◇湘南海岸公園まつり ぐにゃ凧作り29日(日) サーフビレッジ、参加11名。作り手幼児50名。

11月　November

○第356回例会 4日(土)出席32名。
＜30 周年記念行事＞高山みな子氏講演会「勝海舟ってどんな人」11/7(火)聴衆 90 名(一般 66、探求ク 24)
＜30 周年記念行事＞公民館へピアノ椅子寄贈。11/8 公民館長に寄付申出書を手交。
1.メディア委員会 2.HP 制作部 3.アーカイブ委員会休会
4.くぐひ制作部8日(水)参加9名。第116号の投稿原稿の推敲。
5.30 周年記念行事委員会 22 日(水)参加 7 名。祝賀会の最終調整、「30年のあゆみ」の掲載内容検討、執筆者割り振り。集合しての委員会は最終。
【地域活動部門】( )内はゲストで内数
6.【鵠沼松が岡公園愛護会】①5 日(日)参加 11 名②19 日(日)(臨時)参加 7 名。樹木の名札付け製作前進。
7.【藤が谷公園愛護会】12 日(日)参加 10 名(2)。花壇にパンジー、ビオラなど 385 鉢の植え付け作業。
8.【ヤングハーツ】)①1日(水)月初練習、楽器12(7)ボーカル8(6)②10日(金)鵠生園ホーム、楽器7名(3)ボーカル5(5)③22日(水)亀吉本店、楽器6名(4)④28日(火)鵠生園デイ、楽器7名(2)ボーカル2名(2)。部会長交代(井上→坂口)
9.【おもちゃの病院】①12(日)参加13名(2)、来院22名)②26(日)参加12名(1)、来院19名。Dr希望の見学あり。
10.【こどもと遊ぶ会】11 日(土)鵠洋児童館わんぱくまつり。参加 4 名。職員/PTA3。来場 900 名。ポップコーン製造・販売。コーン購入 200 名。・27 日(月)鵠洋児童館。参加 7 名。子ども 20。変わり絵パズル他。
11.【鵠っ子囲碁・将棋ルーム】19 日(日)参加 8 名(2)、子供 17 名(新人 9 名)父母6名。新参加者 9 名。囲碁への参加案内の方策検討。
12.【災害研究部会】 休会。
13.【極楽部会】15日(水)参加13名。漫談「未練」。
14.【健康を探求する会】(西村) 23日(木)参加7名(4)手足のシビレ、注意すべき背骨の病気。健康情報:血管年齢の老ける原因と、若返えらせる方法。
【親睦研鑽部門】( )内はゲストで内数
1.【サロン会】18日(土)参加8名(1)。腰痛談義。
2.【健康部会】24日(金) 参加11名。鎌倉宮、永福寺、、天園獅子舞谷コース。絶好の日和、12千歩ハイク。
3.【探訪部会】21日(火)参加5名(1)。「鎌倉史跡散策(密蔵寺・常立寺・龍口寺・満福寺コース)」
4.【カラオケ部会】20日(月) 参加8名(3)。
5.【農園部会】①5日(日)定例、参加5名②8日(水)臨時、参加5名③20日(月)臨時、参加3名。
6.【談話室】15日(水)参加12名。継続でOB会員(仮称:特別会員)について。検討継続。
7.【デジタル情報部会】27日(月) 14名(1) ①日本の決済システム②近距離通信Wifi、Bluetooth、NFC etc.。
8【ヤングブラザーズ】①11日(土)参加15名(4先生2)②練習Ⅱ25日(土)参加14名(4先生2)。新生ヤンブラがスタート。
9.【近代史を語る会】9日(木)参加14名(4) 第1章1「開国と幕末の動乱」の「幕府の滅亡」から第1章2「明治維新と富国強兵」の「戊辰戦争」迄。
10.【企業研究部会】休会
11.【なつかしの名盤愛好会】13 日(月)参加 7 名。ビートルズの新曲「Now and Then」鑑賞。
12.【似 歌 会】14日(火)第134回。参加9名(1)。兼題「落ち葉」。人生は落ち葉のごとし風しだい　嵯撫路
13.【おひる探Q会】2日(木)、参加6名(1)。炊き込み「サツマイモと塩昆布ご飯」。茶碗蒸しと茄子の浅漬。
◇ボウリング大会:8 日(水)江の島ボウリング C、参加 13 名(3)。優勝個人 池田雄/団体(田中 吉原 池田雄)。
◇ゴルフコンペ:14 日(火)鎌倉 PG、参加 10 名(1)。優勝/岸、2 位/森(芳)、3 位/坂口、BG/玉田。

ヤングブラザーズ部会長交代

その時が来た

池田 修

ヤングブラザーズ10周年時から20周年超えの10年余、部会長を務めた。無味乾燥になりがちで生きるのに精いっぱいだった現役を終え、後期高齢者になる前後5年余り、音楽に親しんで来られたのは望外の幸せだった。カラオケ好きの多い昨今、たいていの人が歌が好きだとは思うが、ややジャンルが違いレトロな感じもある男声合唱をやっていくのには、それなりの探求心と執着心が要った。

部会長の実際は雑用付きのまとめ役だから、面白いものでもない。多少意識したのは、指揮者、ピアニストの先生に気持ちよく指導してもらうこと。個人的にはボイストレーニングの個人レッスンも続けた。歌でも、楽器でも、一流（プロ）のレベルは途方もなく高く遠い、と痛感した10年でもあった。

高齢化の波に洗われコロナ禍で漂流される中、次世代に託す潮時と判断した。佳きハーモニーのヤンブラの今後は、楽才に富んだ大木信一が引っ張る。

新部会長として

大木 信一

ヤンブラのメンバーになって、はや10年。その間ずっと池田修部会長と高木辰夫先生の指揮のもとで、男声合唱の楽しさや醍醐味を存分に味わってきました。歌うことが好きな私にとって、各パートが歌声を合わせてハーモニーを奏でる合唱という新たな喜びを得られたことは、本当にありがたいことと、お二方に感謝を申し上げます。

今回、高木先生の引退と部会長交代ということで、伝統あるヤンブラの部会長をお受けすることになりました。コロナ禍で、2020年から2年余の活動休止の間にメンバーも年齢を重ね人数も少なくなってしまいました。新たな会員の勧誘も必要ですが、メンバーの黒澤良二さんの指揮のもと、まずは現在のヤンブラメンバーの中で最善の活動を目指します。

これまでの恩返しが少しでもできるように、「歌声合わせる」喜びをメンバー全員と分かち合い、楽しいヤンブラ男声合唱活動となるように全力投球していきたいと思います。

「くげぬま探求クラブ」はあなたの入会をお待ちしています。
「会社人間から社会人間へ」を目指す方々は「発行人の坂口」までご連絡下さい。
左の QR コードまたは「くげぬま探求」、「鵠沼探求」で検索してください。

編集後記

くぐひ創刊号に「平成5年6月8日第一回の会合に集まったのはたったの5人だった。これがくげぬま探求クラブの始まりだった」とある。本号では随所に創立30周年にちなむ記事が見られ、活発な現状がうかがえ、喜ばしい限りである。巻頭には新年に期する坂口代表が抱負を。昨年秋の公民館まつりについては池田修さん、柳田さん、河村さんなど、それぞれのイベント担当者が詳しい結果報告を。昨年は多くの創立30周年記念行事が行われ、各責任者より報告。ことし年男の中から野村さん、永利さん（小柳さんは辞退）と米寿の五島さんおよび成瀬さんが思いや近況を披露。期待の集まる新入会員紹介の「私こういうものです」には小野さんと村田さんのお二人が登場。恒例の部会紹介を今回は休み、代わりにくぐひ制作部について紹介。ヤングブラザーズの新旧部会長交代記事では10年務めた池田修さんと新部会長の大木さんが投稿。昨年秋ごろにかけて大型イベントが多く、クラブ短信記事も増えたため、本号は久しぶりの10ページ建てとなった。（塩爺）

会報 くぐひ 第 116 号
2024 年 1 月 1 日
発行 くげぬま探求クラブ
発行人 坂口 純則
編集長 塩川 昌男